

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>地域の中の施設として、そこに住まわれる方々との共生を根ざした共に喜び、手を取り合って いたわり 優しさのある施設を目指す理念を掲げている。</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>玄関やリビング、当直室に理念を掲げ、又、スタッフの名札の裏にも理念を書き、常に理念の共有に努めている。</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>玄関やリビングに理念を掲示しており、パンフレットにも記載されている。又、定期的に発行される機関紙にて啓発、広報に努めている。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>施設の入出時や散歩時に近隣の方々と挨拶を交わしている、又、近所での買い物やクリーニング店、理髪店との付き合いなど日頃より努めている。</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>自治会に加入し回覧板を届けてたり、地域の活動にできる限り参加している。又、小学生、高校生のボランティアや中学生の職場体験に来ていただき交流に努めている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者に気軽に声をかけて立ち寄ってもらい、認知症への理解や介護保険、施設入所などの質問に全職員が対応できるように努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者および職員は自己評価を気づきの機会ととらえ、全職員ですべての項目について話し合い全員で評価を行っている。外部評価の結果はご家族に報告し、指摘があった項目については早急に対応して改善に取り組んでいる。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では行事や新しい取り組みなどを報告、相談し、ご意見を伺い、日々のケアや課題の改善に向けた取り組みに反映されている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護相談員の受け入れにより利用者様の希望や思いを聞きサービスに反映できるように努めている、地域包括支援センターや保護課高齢者福祉課の方に助言をいただきながらサービスの向上に努めている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について研修などで学ぶ機会を持ち、職員にも説明している。利用される方があれば管理者を中心に支援していきたい。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法について勉強会や話し合いを行い、又、事例検討会などで学ぶ機会を設けている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書により契約や解約の説明を行い、疑問や質問はその都度お答えして同意を得、納得されたことを確認してから契約や解約を行っている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>二階のエレベーター前に窓口、責任者、第三者委員などの連絡先を掲示、苦情箱を一階に設置している。又、介護相談員の訪問により利用者の意見や要望をいただき運営に反映するよう努めている。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>個人別の写真を掲載した「すずらん通信」を毎月発行し、ご家族に個々の暮らしぶりや健康状態、行事などの報告を行っている。又、必要に応じて電話での報告や相談を行っている、金銭管理は出納帳を毎月コピーして送付している。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族には訪問時、職員に何でも言っただけの雰囲気作りを心がけている、運営推進会議や家族交流会などの機会に常にご意見を伺い、出された意見は話し合い運営に反映できるように努めている。行政機関の窓口も重要事項説明書に明記してある。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>スタッフミーティングを週に一回行い意見交換を行っている、出された意見や提案は話し合い、運営に反映されるように努めている。又、意見や提案をいつでも聞く用意があり、自由な発言を求めていることを常に職員に示している。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者様、ご家族の状況や状況により柔軟に職員の配置ができるように努めている。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者様が安心して暮らしていただけるように職員の離職を少なくするように努めている。又、やむおえず離職の際は利用者様やご家族へ十分な説明を行い理解を求めている、新しい職員には利用者様への対応を十分説明し、変わらないケアが行えるように努めている。又、利用者様やご家族にはきちんと紹介している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
りxy			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部の研修には積極的に参加している。施設内では年間で研修項目を作り、月に一回職員研修を行い、介護の質の向上や情報の共有ができるように努めている。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>関連の施設と行事を一緒に行ったり、それぞれの施設を訪問して、お互いの質の向上に努めている、又、月に一回定例会を行い他の施設との情報交換を行いサービスの向上に努めている。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員の親睦会を開き気分転換ができる機会を作っている。又、一人で休憩できる場所を確保している。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営者は週一回のミーティング時や出向いたとき、職員各自の状況を把握、時には労いやアドバイスをを行い、職員がやる気をだして働けるよう努めている。</p>	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談から利用されるまでにご本人に面会を行ったり、施設を見ていただく機会をつくり、ご本人の思いや不安を聞き、その方を理解する努力をしている。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談から利用されるまでにご家族との面会を多く持ち、又、施設内を見ていただき、ご家族の不安や求めていることなど聞き、気持ちを受け止め信頼関係を築けるように努めている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、ご本人やご家族の要望や状況を把握し、柔軟な対応を行っている。又、他のサービス利用が必要な場合もそれに対応できるよう努めている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人やご家族に施設を見ていただき、施設の雰囲気を感じていただきながら施設内でしばらく過ごしていただき、他の利用者様や職員と会話して徐々に馴染んでいただき、納得された上で利用を開始していただけるようにしている。職員とご家族が協力しながら安心して過ごせる場所になるよう援助している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者様は人生の先輩であり、共に暮らしているのだという考えを職員全員が共有している。時には料理方法を教わったり、花や野菜の育て方を教わり、その成長を共に喜び、支えあう関係であるように努めている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の状況を報告し、ご家族と情報を共有している。又、ご家族の協力を得ながら利用者様が安心して暮らしているよう支援している。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者様の思いやご家族の思い、又、関係を理解し、相談や助言を行いながら、利用者様とご家族がより良い関係を築けるように支援している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人や友人が気軽に会いに来ていただけるよう支援し、来訪時には居心地の良い雰囲気作りに努めている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	日々の暮らしの中で利用者様がお互いを労り合う姿や会話を楽しまれている姿がみられる。職員はそれぞれの個性を大事にしながら一人ひとりに眼を配り、声かけを行い利用者様同士が関わり合えるように支援している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了しても気軽に相談や訪問していただけるように努めている。、又、年賀状や暑中見舞いなど近況を知らせ合い関係を大切にしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員一人ひとりが利用者様の日頃の言動に注意して、思いや希望を把握し、ご家族共相談しながら利用者様の希望に添った暮らしができるように支援している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に利用者様やご家族から話を聞き情報を得られるように努めている。入居後も折に触れ話を聞き馴染みの深い品物、使いやすい物をサービスで利用できるように心がけている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員は一人ひとりに眼を配り、利用者様の生活のリズムや心身の状態を把握し現状に添った生活ができるように支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者様が自分らしく暮らしていけるように利用者様、ご家族、主治医、職員と話し合い、それぞれの意見が反映された介護計画をたてるように努めている。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者様やご家族、主治医、職員と話し合い定期的に計画の見直しを行っている。状態や状況の変化があった場合には関係者と話し合い、その都度、介護計画の見直しを行い現状に即した計画になるよう努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、ケース記録、申し送りノートに記入し、情報の共有を図り実践や介護計画の見直しに活かしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	買い物の付き添いや病院受診時の送迎や付き添いなど利用者の希望や状況により臨機応変に対応し、ご家族や利用者の満足が得られるように努めている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者が安心して地域で生活できるよう、警察、消防、民生委員の理解と協力をお願いしている。ボランティアや職場体験、アニマルセラピーなど受け入れ支援している。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者の状態の変化や希望に合わせて、福祉用具の導入や変更など、他の事業者や高齢者福祉課と話し合い対応できるよう支援している。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	利用者の意向や必要性があれば権利擁護や長期的なケアマネジメントについて、地域包括支援センターと協働して支援できるように努めている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様やご家族の意向を確認し協力医療機関や以前からのかかりつけ医、訪問診療を受けられるよう医療機関と良い関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの人格やプライバシーを損ねないような声かけや誘導を行うよう心がけている。個人情報についての研修を行い、職員の意識向上に努めている。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	利用者様の希望やできること、興味のあることを示し理解力に合わせた説明を行い、利用者様の納得のいく生活ができるよう支援している。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のおおまかな日課はあるが一人ひとりの体調や希望に配慮し、柔軟に対応している。食事、入浴、睡眠など個別性のある対応を行っている。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	着替え、洗顔、整髪など起床時や入浴後その方らしい身だしなみができるよう支援している。訪問理美容の方に定期的に来ていただいているが、ご家族の方と出かけられ、髪をカットされる方もいる。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を使ったメニューになるように工夫し、食材の下ごしらえや調理法、献立を一緒に考えたり、一緒に食事を取りながら味付けや出来ばえを話し合い楽しい雰囲気作りを心がけている。又、調理研修に参加してスキルアップを図っている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	コーヒーやお茶、おやつなど定時に提供しているが、それ以外に利用者様の要望やご家族の差し入れなど利用者様の状態や時間を見ながら希望に添えるように支援している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄パターンや習慣を把握し、トイレ誘導を行いトイレでの排泄やオムツ交換により気持ち良く過ごせるよう支援している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	月曜日から土曜日までお風呂の準備をし一人ひとりの希望に添った入浴ができるように支援している。日曜日でも入浴を希望される場合は援助できるように職員の配置はなされている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間、眠れるようにできるだけ昼間は起きて活動していただけるよう支援している、夜間寝付けない方はお話をしたり、お茶を飲ませたりして落ち着いていただけるよう支援している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者様の得意なことや好きだったことを利用者様およびご家族からの情報で把握しており、それらを生活の中に取り入れて楽しみながら暮らすことができるように支援している。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様の希望に応じてご自分でお金を管理していただき買い物を楽しめるよう支援している。お金の管理ができない方も一緒に買い物に出かけ、ご自分で品物を選ぶ楽しみが得られるよう支援している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者様一人ひとりの希望に添って近くの商店街に出かけ、品物を買う楽しみや人々が行き交う雰囲気を感じられるように外出の支援を行っている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お弁当を持ってお花見に出かけたり、個々の希望により出かけられるよう支援している。、又、ご家族と外出され外食などの機会を作っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様のご希望があればご家族へ電話をかけ話をさせていただいたり、ご家族の方よりかかってきた電話を取り次いでいる。手紙も利用者様が書かれれば出している、又、届いた手紙は本人に渡している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族や友人、知人が気軽に訪問され気持ちよく過ごしていただけるように支援している。利用者様と訪問者の会話が妨げられない空間作りに努めている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しておりミーティングや申し送りの際、職員間で自分自身のケアを振り返り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関に日中鍵をかけないよう取り組みがなされている。又、玄関から2階のリビング、3階、4階の居室をつなぐエレベーターも利用者様が自由に操作して行き来している。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はリビングにいる職員や台所で料理を作りながら見守りを行っている。居室で過ごされる利用者様には時折声かけを行い様子をみている。夜間は定期的な巡回とモニターで利用者様の安全に配慮している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者様の状態や状況を十分に把握し、必要に応じて職員が保管管理している。利用者様が使用する際は見守りや声かけを行い危険を防ぐよう努めている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急時の対応を全職員に徹底しており、又、研修も行い事故防止に取り組んでいる。危険を予防できるように毎日ひやりハットを記録し、事故防止に努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアル作成や研修を行い応急の対応ができるようにしているが、現実には病院に連絡して指示を仰ぐようにしている。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練を行っており、職員は共通した非難時の対応を把握している。近隣の方々にも日頃から声をかけ、協力が得られるようにしている。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者様の暮らしを大切にしながら必要に応じて起こりうるリスクをご家族に説明し、話し合い理解を得られるよう努めている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝、バイタルチェックを行っているが顔色や食欲、普段の様子と違う時は職員間で情報交換し状況によっては主治医に連絡、指示を仰ぐようにしている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬のファイルがあり、個々に使用している薬の目的や副作用、用法、用量が確認できるようにしている。薬の処方や用量に変化があった時は申し送りノートに書き、全職員が情報を共有できるようにしている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維質の多い食材を取り入れたメニューを心がけている、排便チェック表や水分摂取量チェック表などを活用し、定期的な排泄があるように取り組んでいる。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、歯磨きやうがいができるようにリビングの洗面台にコップと歯ブラシを個別に準備しており、職員が声かけや見守りを行い口腔ケアを行っている。一人で行えない方は職員が援助して口腔内を清潔にするよう努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスの取れた食事を提供し、毎回食事摂取量のチェックを行っている。、水分は水分摂取量チェック表に記録し、水分摂取量の少ない方には声かけを行い一日の目標に達するよう援助している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを活用しながら研修なども行い予防や早期対応に努めている。又、インフルエンザの予防接種は利用者様、職員共に毎年受けている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板や冷蔵庫は週一回消毒を行っており、食器や包丁は乾燥機で乾かすようにしている。、食材は新鮮で安全なものを使用するように努めている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前にプランターや鉢植えを置いて季節感のある花や野菜を植え、地域の方々も楽しんでいただき親しみやすい雰囲気作りを行っている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月、玄関に季節感のある人形を飾り、訪問者の眼を楽しませている。リビングには季節の花が飾られ利用者はテーブルを囲み居心地よく過ごしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファや和室があり、利用者様がお独りになりたい時などプライバシーが保たれるように衝立で遮れるよう配慮している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた家具やご家族の写真などが持ち込まれ利用者様が使いやすいようにレイアウトされており過ごしやすい空間になっている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	リビングは温度調節や換気をこまめに行っており、トイレには消臭剤を置き換気を行っている。居室は一人ひとりに合わせて適切でなおかつ利用者様が好む温度設定になるよう対応している。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ローカ、トイレ、浴室など手すりが付いていて安全に移動できるように配慮している。、施設内は段差のない設計がなされており車椅子や歩行器の方もスムーズに移動できるよう工夫されている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレの場所が分かるように「お手洗い」と大きな文字で書かれている。夜間は不安を感じないようローカの電気は点けている。又、ご自分の部屋が分かるようにドアの近くに造花を置かれ目印にされている方もいる。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関前のプランターや鉢植えに季節の花や野菜を植え成長を楽しんでいる。ベランダには洗濯物やお布団を干して活用していただいている。		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当施設は鹿児島中央駅近くにあり、近所には朝市、商店街などがあり利用者様の買い物は歩きや車椅子などでも出かけられる場所にあります。近くに共研公園があり散歩やお花見などに利用しております。又、交通の便が良い為、ご家族や知人の方々が面会に来やすい環境にあります。

隣近所の方々とも、顔なじみになっており日頃の挨拶や買い物、クリーニング店や理美容室の利用など良い近所付き合いを行っており、ご近所の方々もグループホームをご理解いただき気軽に声をかけてくださる関係ができております。

職員の経験年数も長く、長期就業しており利用者様やご家族との信頼関係ができています。